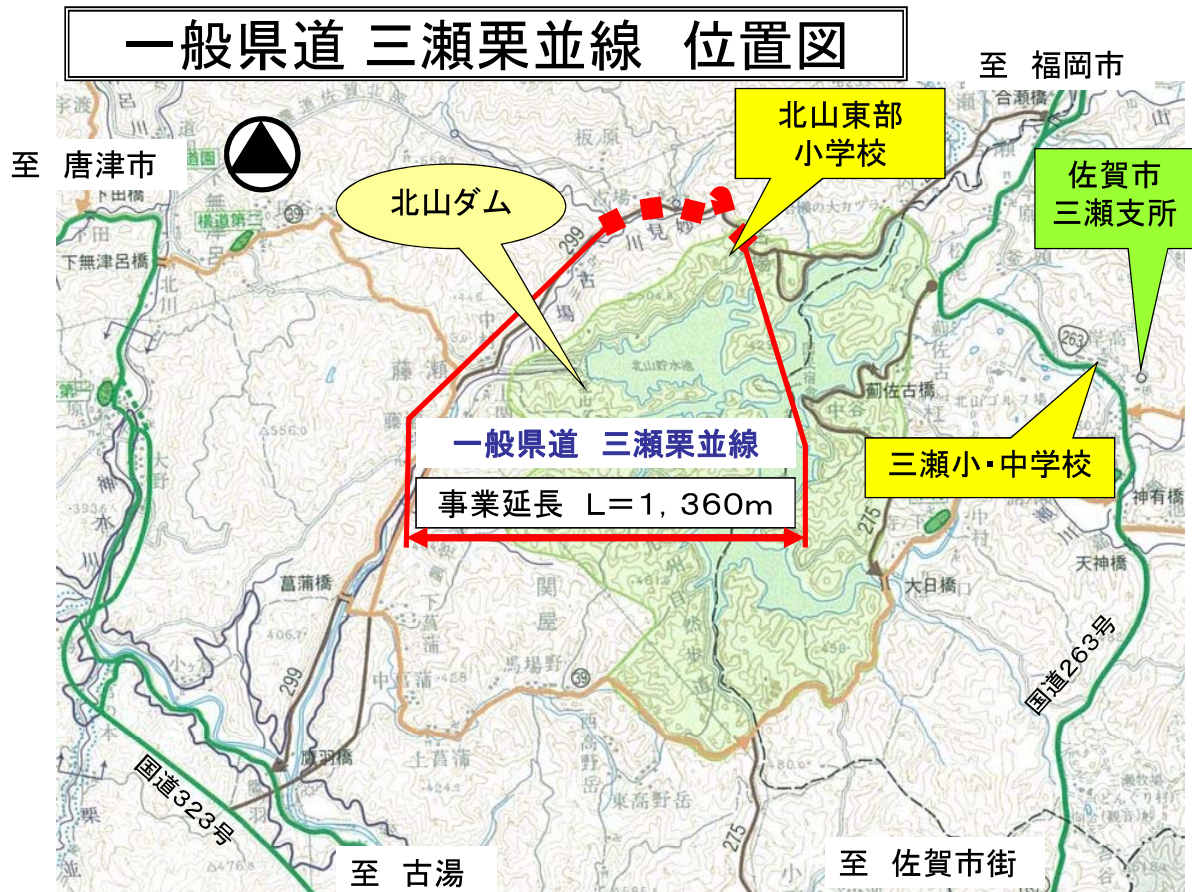


平成25年度 再評価委員会

路線名：一般県道 三瀬栗並線
事業名：社会資本整備総合交付金事業
(再評価実施後5年経過のため再評価)



事業目的

佐賀市三瀬村



佐賀市富士町

交流を支えるために
重要な道路
観光に資する道路

近隣の小中学校(北
山東部小学校や三瀬
小・中学校)の通学路

しかし、現道は...

幅員が狭く、線形が悪い
歩道無し



車や歩行者の
通行に支障

よって、改良により

交通の円滑化と交通安全を確保
生活圏間の交流を支え、観光振興に寄与する

現道状況

幅員狭小状況



線形不良状況



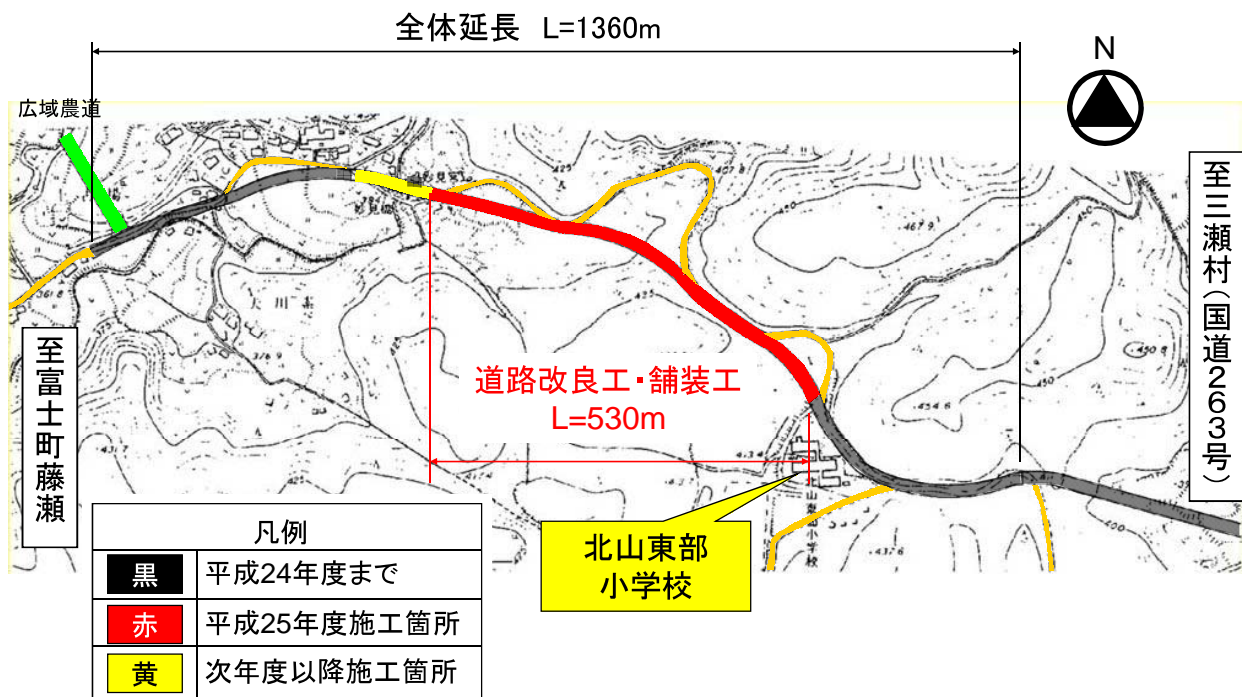
事業概要

- 全体事業費:9.6億円
- 工期:平成11年度～平成26年度(予定)
- 全体延長:L=1,360m
- 事業内容:改良工 L=1,360m
 橋梁工 1橋 (L=8.1m)
 用地買収 18,000㎡
 物件補償 7戸

事業の進捗状況

	平成24年度まで	平成25年度	平成26年度以降
事業費(億円)	5.8	2.2	1.6
進捗率(%)	60.8	83.7	100.0
用地進捗率(%)	98.0	100.0	100.0

一般県道 三瀬栗並線 平面図



平成25年 現地状況



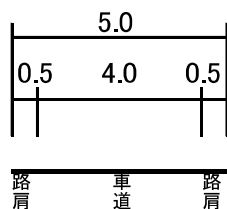
中間部から起点側を望む
(改良済箇所)



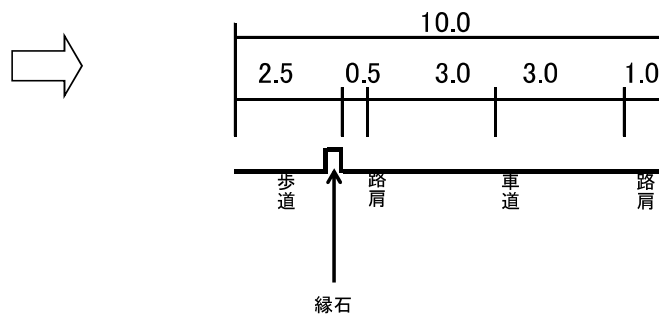
中間部より終点側を望む
(未改良区間)

一般県道 三瀬栗並線 横断図

現況



計画



事業を巡る社会経済情勢等の変化

- 交通量の推移

平成11年度 937台/日

平成17年度 345台/日

平成22年度 356台/日

- センサス地点では上記交通量であるが、当該区間には広域農道からの交通流入があり、現況配分交通量は1,100台と推計されている。今後、当該箇所が整備されることにより、交通量の増加が見込まれる。

費用対効果の要因の変化

- 事業採択時と比較して大きな要因の変化は見られない。

$$\text{費用便益比}(B/C) = 17.5/11.4 = 1.5$$

- 【便益】

走行時間短縮便益 = 15.6億円

走行経費縮小便益 = 1.7億円

交通事故減少便益 = 0.2億円

合計 17.5億円

- 【費用】

事業費 = 10.4億円

維持管理費 = 1.0億円

合計 11.4億円

コスト縮減や代替案等の可能性

(コスト縮減)

- 再生資材の利用促進を図っている。
- 工事で発生する残土を盛土等に流用する。

(代替案の検討)

- 特になし

対応方針(事業課案)

- 事業の必要性に変化が無い。
- 依然として危険な状況が解消されておらず、交通の円滑化と交通安全の確保を図るため、事業を継続したい。
- また用地買収が今年度完了見込であることから、全区間の早期供用を図るため、事業を継続したい。